

ウルグアイ経済報告（6 月分）

【概況】

- 6 月の消費者物価指数（対前年同月比）は 10.36%となり、先月に続き政府のインフレ目標（3～7%）を上回った。前年同月比で食料品・ノンアルコール飲料、家具・家庭用品、娯楽・文化、財・サービスの分野では 2 桁、それ以外の分野では 1 桁台の増加であった。
- 6 月の対ドル為替レートは平均 42.58 ペソと、前月比 1.96%のペソ高となった。
- 6 月の輸出額は 720 百万米ドル、前年同月比は 7%減となった。2020 年前期の輸出額は 3,803 百万米ドル、前年同期比は 16%減となった。牛肉、セルロース、生体牛、羊毛の輸出は前年同月に比べ減少したが、コメ、乳製品、麦芽、木材の輸出は増加した。
- 6 月の輸出額第 1 位は牛肉で輸出額は 138 百万米ドルであったが、主要輸出先である中国が新型コロナウイルス感染症に伴い検疫を強化したため、牛肉の輸出が減少したことにより前年同月比は 13%減となった。なお米国及びカナダへの輸出は僅かに増加した。同 2 位は特に輸出の落ち込みが大きかったセルロースで輸出額は 100 百万米ドル（前年同月比 15%減）となった。同 3 位は大豆で輸出額は 90 百万米ドル（前年同月比 1%減）となった。
- 輸出が好調であったのがコメである。6 月の輸出額第 4 位のコメは新型コロナウイルス感染症が拡大する中でも国外の需要を維持し輸出額は前年同月の約 2 倍以に当たる 59 百万米ドル（前年同月比 101%増）となった。主な輸出先はメキシコ（輸出全体の 40%）、キューバ（同 20%）、ペルー（同 16%）であった。同第 5 位の乳製品も粉ミルク及びマーガリンの輸出増加に伴い輸出額は 58 百万米ドル（前年同月比 31%増）となった。輸出全体の 38%を占めるアルジェリアへの輸出が僅かに増加した他、キューバ、エジプト、モロッコ、アラブ首長国連邦への輸出も増加した。一方、ブラジル及びロシアへの輸出は減少した。
- 輸出が不調であったのが生体牛、羊毛・織物で、生体牛の輸出額はトルコへの輸出減少に伴い 11 百万米ドル（前年同月比 57%減）となった。特に輸出の落ち込みが大きかったのが羊毛・織物で輸出額は 4 百万米ドル（前年同月比 77%減）となった。
- 5 月の主要輸出先を見ると、第 1 位は先月に引き続き中国で輸出額は 97 百万米ドル（輸出額全体の 20%）となった。主要輸出品であった牛肉の輸出減少に伴い前年同月比は 36%減となった。大豆、牛肉製品、乳製品、羊毛の輸出も減少した一方、木材及び魚介類の輸出は増加した。同 2 位は米国で牛肉の輸出増加に伴い輸出額は 70 百万米ドル（前年同月比 68%増）となった。柑橘類、木材、蜂蜜の輸出も増加した一方で牛肉製品の輸出は減少した。同 3 位はブラジルで輸出額は麦芽飲料及びプラスチックを除く製品の全体的な輸出

減少に伴い 66 百万米ドル（前年同月比 24%減）となった。同 4 位は EU で牛肉の輸出減少に伴い輸出額は 44 百万米ドル（前年同月比 37%減）となった。羊毛、木材、馬肉、豚肉の輸出も減少した一方、コメ、蜂蜜、柑橘類の輸出は増加した。

（出典：ウルグアイ 21（ウルグアイ貿易投資促進庁））

【トピック】

1 新型コロナウイルス

（1）中国への牛肉の輸出

北京での新型コロナウイルスの新たな感染発生に伴い、中国税関は食料輸入時の検査強化を含む規制を実施した。6 月 15 日に開催されたウルグアイ食肉協会（INAC）理事会での報告によると中国の輸入業者からは食肉売買契約のキャンセルを含む再交渉の要請があり、フェルナンド・マツス INAC 会長は、「中国までの 50 日間の海路による航送中に食品がウイルス感染する可能性があるとの考えは科学的観点からは合理的ではない」と述べた。また「ウルグアイでは感染者数が減少しているだけでなく、食肉パッカー業界のみならず、食品流通を通じた感染もないため、中国の当該措置の適用から除外されるべきである」と指摘した。また、ウリアルテ農牧水産大臣は中国検疫当局による輸入食品検査の厳格化に向けた動きに対し「かかる中国の対応は商業活動を大幅に減速させる」、「現在事業者間で締結されている契約の再交渉は混乱と追加費用を生ずる」と懸念を表明すると同時に、今日中国に提供されている食料はウルグアイを含めて安全である点を強調した。

6 月 20 日に 5 万 2 千トンの牛肉を含むウルグアイから中国へ輸出された食品の検査が実施されたところ結果は全て陰性であった。

（2）国際機関からの融資

ア BID

6 月 24 日、米州開発銀行（BID）は新型コロナウイルス感染症による経済・衛生危機への対応に際しウルグアイの中小企業約 1 万 5 千社に対する 80 百万米ドルの融資を承認した。

イ 世界銀行

6 月 25 日、世界銀行はウルグアイ経済を支援する目的で 400 百万米ドルの融資を承認した（返済期限 2 年、4 年の猶予付き）。世界銀行の融資によりウルグアイ政府は新型コロナウイルス感染症により経済・社会的影響を受けた家族、労働者、企業を支援する政策を継続

することができる。

(3) 経済見通し

世界銀行は4月時点では本年のウルグアイのGDPの落ち込みは2.7%と予測していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み予測を3.7%に修正した。なお、2021年の経済成長率を4.6%と予測した。

2 メルコスール・EU・FTA

6月3日、ウルグアイ外務省は昨年6月に実質合意済のメルコスール・EU・FTAの地理的表示部分に関し、本協定発効後ウルグアイ並びにアルゼンチン、ブラジル、パラグアイ市場でEU産地理的表示農産品と見なされる製品名の使用を停止する必要がある旨通知した。一方、条件を満たす製品については外務省宛に誓約書を提出することで名称使用停止の対象から除外される。

3 予算案

6月10日、ラカジェ・ポウ大統領は閣議を招集し8月末に国会に提出する今後5年間の予算案の方向性を決定した。閣議後アルベレチェ経済財務大臣は記者会見にて国営機関は責任を持って既存の資源を管理する必要があると、国民から支払われた税金をより良い方法で使用するために各省庁は各予算を見直す旨説明した。また、失業保険を受領する労働者は、新型コロナウイルス感染症発生前の4万8千人から20万人まで増加した旨説明し、本年の最重要課題は雇用であるため、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けた企業や個人への支援を優先するとした。

4 国債の発行

6月24日、ウルグアイは国際市場における約20億米ドルの債務オペレーションを完了しドル建及びペソ建国債を発行した。アルベレチェ経済財務大臣は、ウルグアイは新型コロナウイルス感染症によるパンデミック発生以降、国債発行のタイミングをうかがっており今回の発行に至ったと述べた。また、今回ドル建て国債がウルグアイ史上最も低い金利で発行された他、ウルグアイはパンデミック発生後に自国の通貨でグローバル国債を発行した初の新興国となった旨説明した。

5 財政赤字

本年 4 月までの 12 ヶ月間の財政赤字の対 GDP 比は 4.6%と、2 月、3 月までの 12 ヶ月に比べ 0.4%改善された。右背景には政務総局 (DGI) 及び社会保障銀行 (BPS) の徴収減少にかかわらず、共和国銀行の収益増加に伴い公共セクターの活動が強化されたことがある。

6 失業率

6 月 5 日の国家統計院 (INE) の発表によると 3 月の失業率は 10.1%となった。10.5%を記録した 2 月の数値からは減少したものの、職を探している人数自体が大幅に減少したことも影響している。また、INE は 3 月の統計は調査方法や質問内容に変更があったため他の月との比較対象にはならない旨説明した。

7 自動車販売台数

自動車販売協会 (ACAU) の発表によると 5 月の新車販売台数は 1,632 台 (前年同月比 53.1%減) と 4 ヶ月連続で落ち込みを見せた。なお、2018 年から 2019 年の 1 年間でのメーカー別の売り上げではスズキが 1,562 台と引き続き 1 位となった。

8 製造業生産活動指数

国家統計院 (INE) の発表によると、国営燃料公社 (Ancap) を抜いた場合 4 月の製造業生産活動指数 (IVF) の前年同月比は 22.2%減となった。なお Ancap に加え UPM 社、モンテス・デル・プラタ社及びペプシ社を抜いた場合のコア製造業生産活動指数は前年比 26%減となった。

(了)